

下水道問題の理解を深める

重大な行政課題として、下水道問題が挙げられます。公共下水道事業は、昭和59年に開始しました。受益者負担金の時効消滅を回避するため、平成13年3月に「賦課替え」の加入分担金制度を導入した「公共下水道事業受益者負担に関する条例」に改正し、15年が経過しました。この間に住民監査請求が2件あり、現在も司法の場で係争中であります。

議会では、下水道問題を理解し、解決に向けて糸口を探るべく、有識者を講師とした研修会を2回開催しました。

《議員研修会 1》

平成28年11月10日(木)に、愛川法律事務所 愛川直秀弁護士を講師として、講義を受けました。

講義内容は、①住民訴訟とは②被告役場(場) 勝訴の影響と議会対応③被告敗訴の影響と議会対応④裁判の行方⑤条例改正の可否と裁判への影響について

《議員研修会 2》

平成28年11月13日(日)に、上部指導団体である、日本下水道事業団研修センターの加藤壮一教授を講師として、講義を受けました。

講義内容は、①受益者負担金の基本的考え方②標準的な制度の概要③制度の運用と課題④徴収猶予・減免の取扱い⑤排水区域のあり方⑥自治法で定める条例の要件について

《 白馬村シニアクラブ 》

11月11日(金)に白馬村シニアクラブとの懇談会を、白馬村役場で開催しました。

クラブ下川辰男会長他9名の参加をいただきました。特筆すべきは、クラブの参加者のうち7名の方が議員経験者であり、時期を得たテーマで意見交換が行われました。

意見交換のテーマは、

- ①白馬村環境基本条例
- ②白馬高校支援
- ③白馬議会だより
- ④地域高規格道路
- ⑤理事者と議会運営等

で、行政課題、地域振興、教育、議会運営等多岐にわたり、活発な話し合いが行われました。



定住移住促進、インバウンド、白馬高校存続の取組など 3町からの視察研修会を受け入れました！

栄町議会(千葉県印旛郡)16名 10月27日
●定住移住施策について ●インバウンド施策について

阿賀町議会(新潟県東蒲原郡)8名 11月17日
●白馬高校存続に向けた取り組みについて

南伊勢町議会(三重県度会郡)11名 11月18日
●観光振興における行政と観光局の明確化、通年観光、長期滞在型観光、インバウンド事業について



以前によく白馬に来ていたことがある議員から
当時と今の観光の違いや経過などの質問が出された南伊勢町議会の様子



表紙の写真説明

議会は去る1月20日に、村長をはじめとする行政とともに、雪不足に対する現状報告や必要とする支援策等を、商工会、観光局、各観光協会関係、旅館ホテル組合、除雪業者索道事業者、スキー場事業者、金融機関他関係者と検討しました。

ご意見を

お寄せください。

85-0725(直通)

72-7001(ファックス)

むらの未来が見える
(12月定例会の傍聴者延べ23人)

議会傍聴においでください

次の定例会は 3月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます